熱中症を予防するための「見える化」

サーモグラフィーによる体温確認

デジタルカメラによる撮影（サーモグラフィーと同じ撮影位置）

サーモグラフィーを使用して、作業員の体温を「見える化」。
他の作業員と比べ、体温が高い場合、休息を促したりと、
変化に応じた処置を行う。